

<基本情報>

所在地：大分県豊後大野市（緒方町）

<農場概要>

- 面積：3.5ha(うち有機：3.5ha)
- 従業員：2人
- 栽培品目：水稻、麦・大豆、野菜、かぼす、養豚



<有機農業に取組むきっかけ>

- 父が有機農業を営んでいたことからその影響もあり、有機農業等を学べる高校へ進学。卒業後、大学で養豚を学び家業に就き、令和5年養豚を始める。
- 令和7年1月、事業継承。
- 平成19年(2007年)に有機JAS認証を取得。

<販売について>

- 有機食品等を取り扱う小売店や道の駅等での委託販売や宅配に対応。
- 加工品（かぼす果汁、黒米、黒米入りあまざけ等）のインターネット販売。
- オーガニックマーケットなど、直接消費者の方とお話できる場で販売。



手押し除草機

<病害虫対策・除草対策・土づくり>

● 病害虫対策

水稻は、みのる式のポット成苗システムにより、稲の能力を最大限引き出す。野菜は、入植当初は全滅することもあったが、徐々に圃場の生態系バランスが良くなり、5年～10年で病虫害のない土壌環境ができてきた。

● 雑草対策

合鴨農法、手押し除草機
あめんぼ号（水田株間除草機）
圃場内の雑草を草マルチとして利用



あめんぼ号

● 土づくり

米ぬか、おから、油かす、落葉や畦草を堆肥化しボカシ肥料として施用。また、豚糞を堆肥として利用することで「循環型農業」の輪がさらに大きく広がる。

<苦労しているところ>

- 自然相手なので、病害虫・除草対策と土づくりは永遠のテーマ。
- 除草対策の合鴨が鳶(トビ)やカラスによる被害を受けている。
- 圃場が分散しているので、農作業や見回り等の手間が掛かる。

<今後の対応>

- 慣行栽培に負けないくらい、安心して食べられる美味しい農産物を栽培する。養豚の規模を拡大し、有機畜産物の認証取得も視野に入れていきたい。



【お問合せ先】

TEL・FAX 0974-42-3501

ホームページ <https://ujamaa-farm.com>